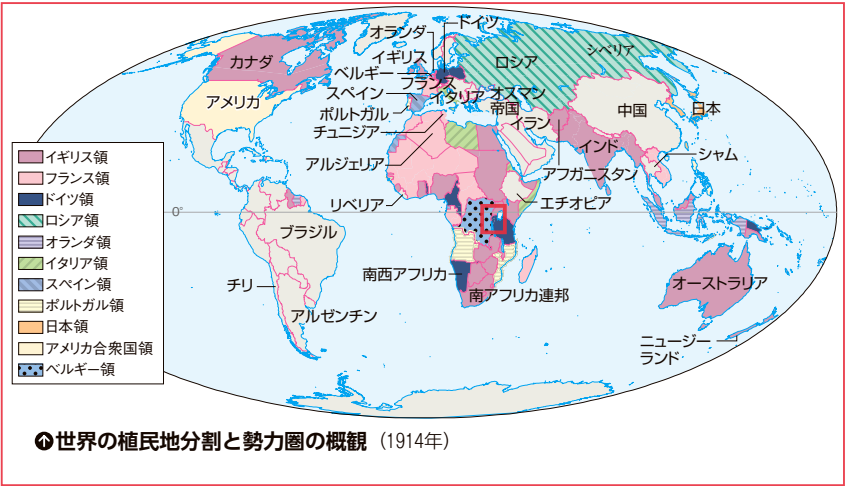
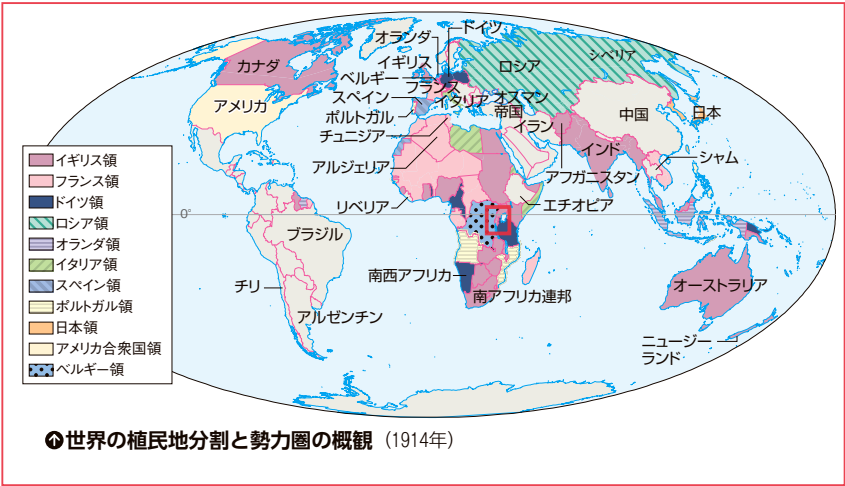


番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
1	7	左段 9-10	政治や外交の問題、環境問題などの多くは、私たちの生存の危機を脅かしているにもかかわらず、解決する方法が いまだ	政治や外交の問題、環境問題などの多くは、私たちの生存を脅かしているにもかかわらず、解決する方法が いまだ見つ か
2	155	18	連携を保った。	連携を保った。
3	227	地図	別紙 1 参照	別紙 1 参照
4	291	18	立憲民主制への移行措置を中心に、	立憲君主制への移行措置を中心に、
5	297	上部地図	別紙 2 参照	別紙 2 参照
6	368	注②	②光州事件の首謀者とされた金大中（→p.376）は、死刑判決を受けた。1973年に「金大中事件」を経験した日本を含む国際世論は、この判決を強く批判した。金大中はのちに釈放された。	②民主化要求運動の首謀者とされた金大中（→p.376）は、死刑判決を受けた。1973年に「金大中事件」を経験した日本を含む国際世論は、この判決を強く批判した。金大中はのちに釈放された。
7	369	8	Kissinger キッシンジャー大統領補佐官 (1923～)	Kissinger キッシンジャー大統領補佐官 (1923～2023)
8	384	表	2020 北マケドニアが加盟 2023 フィンランドが加盟 ① NATOの拡大 ③ EUやNATOが東方に拡大したことはロシアにとって脅威	2020 北マケドニアが加盟 2023 フィンランドが加盟 2024 スウェーデンが加盟 ① NATOの拡大 ③ EUやNATOが東方に拡大
9	368	上部写真	別紙 1 参照	別紙 1 参照

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
10	172	注③	③以後、チンギス家の王族が大ハン位 ^{けいしょう} を継承した。明から彼らは韃靼 ^{だたん} （タタール）とよばれ、非チンギス系の西方のモンゴル諸族は瓦剌 ^{ワラ} （オイラト）と称された。	③以後、チンギス家の王族が大ハン位 ^{けいしょう} を継承した。明から彼らは韃靼 ^{だたん} （タタール）とよばれ、非チンギス系の西方のモンゴル諸族は瓦剌 ^{ワラ} （オイラト）と称された。
11	376	28	国際連盟 ^{ワシントン条約} に加盟し、	国際連合 ^{ワシントン条約} に加盟し、
12	210	5-6	高まった。つぎのCharles I チャールズ1世 ^(在位 1625～49) に対して、議会は1628年に権利請願 ^{けんりせいがん} を提出 ^{Petition of Right (→p.110)} して、 <u>議会の同意なく課税することや、国民を不当に拘束^{こうそく}しないことなどを王に求めた。</u> しかし王は、議会軽視の政治をつづけた。	高まった。つぎのCharles I チャールズ1世 ^(在位 1625～49) に対して、議会は1628年に権利請願 ^{けんりせいがん} を提出 ^{Petition of Right (→p.110)} して、 <u>議会の同意なく課税したり、国民を不当に拘束^{こうそく}したりしないことなどを王に求めた。</u> しかし王は、議会軽視の政治をつづけた。

番号 3



番号 9



④日本製品を破壊して抗議するアメリカの労働者 (1980年)

①アメリカのカーター（在職1977～81）政権は、海外の民主化を求める人権外交を展開し、開発独裁をとってきた諸国の民主化を後押しした。

②光州事件の首謀者とされた金大中（→p.376）は、死刑判決を受けた。1973年に「金大中事件」を経験した日本を含む国際世論は、この判決を強く批判した。金大中はのちに釈放された。

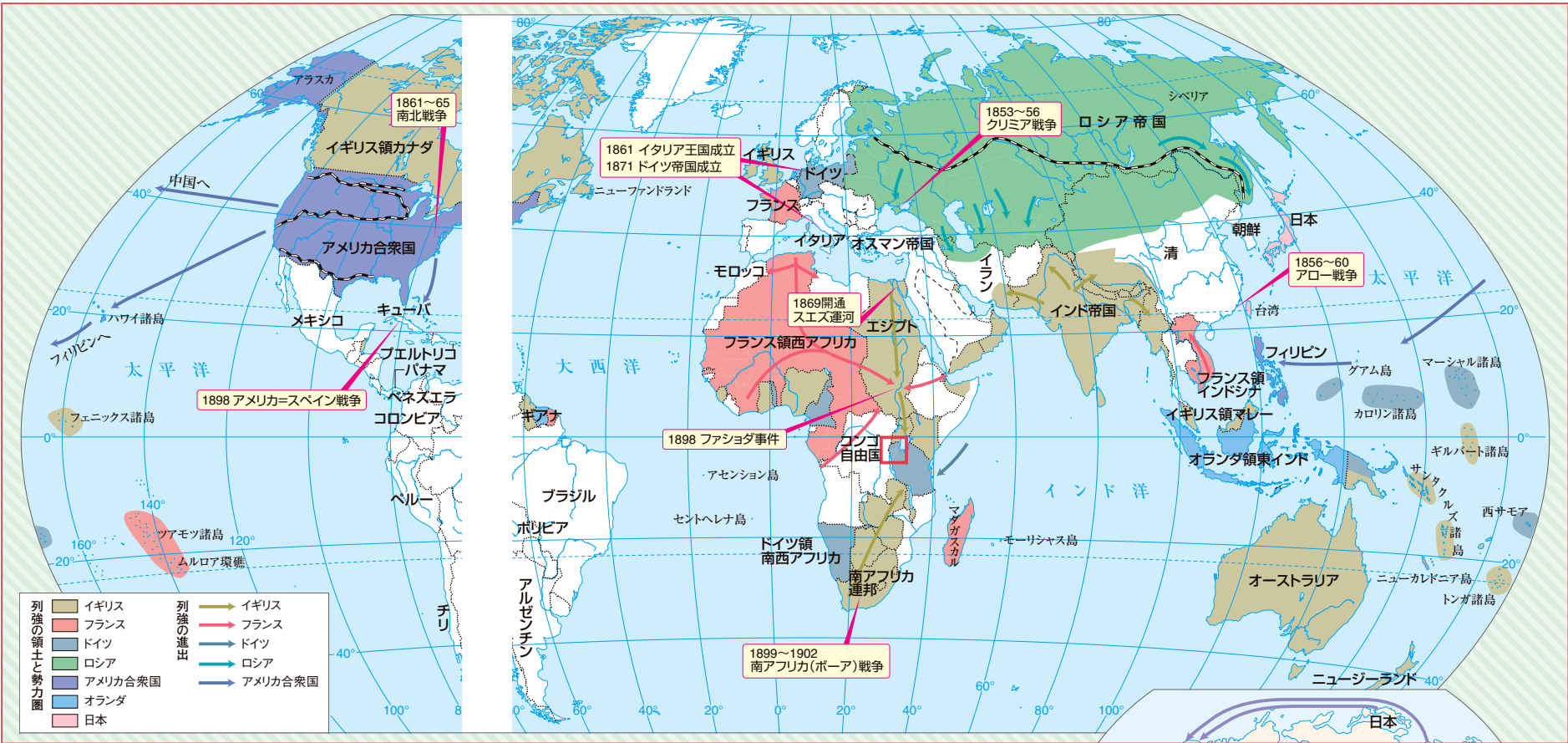
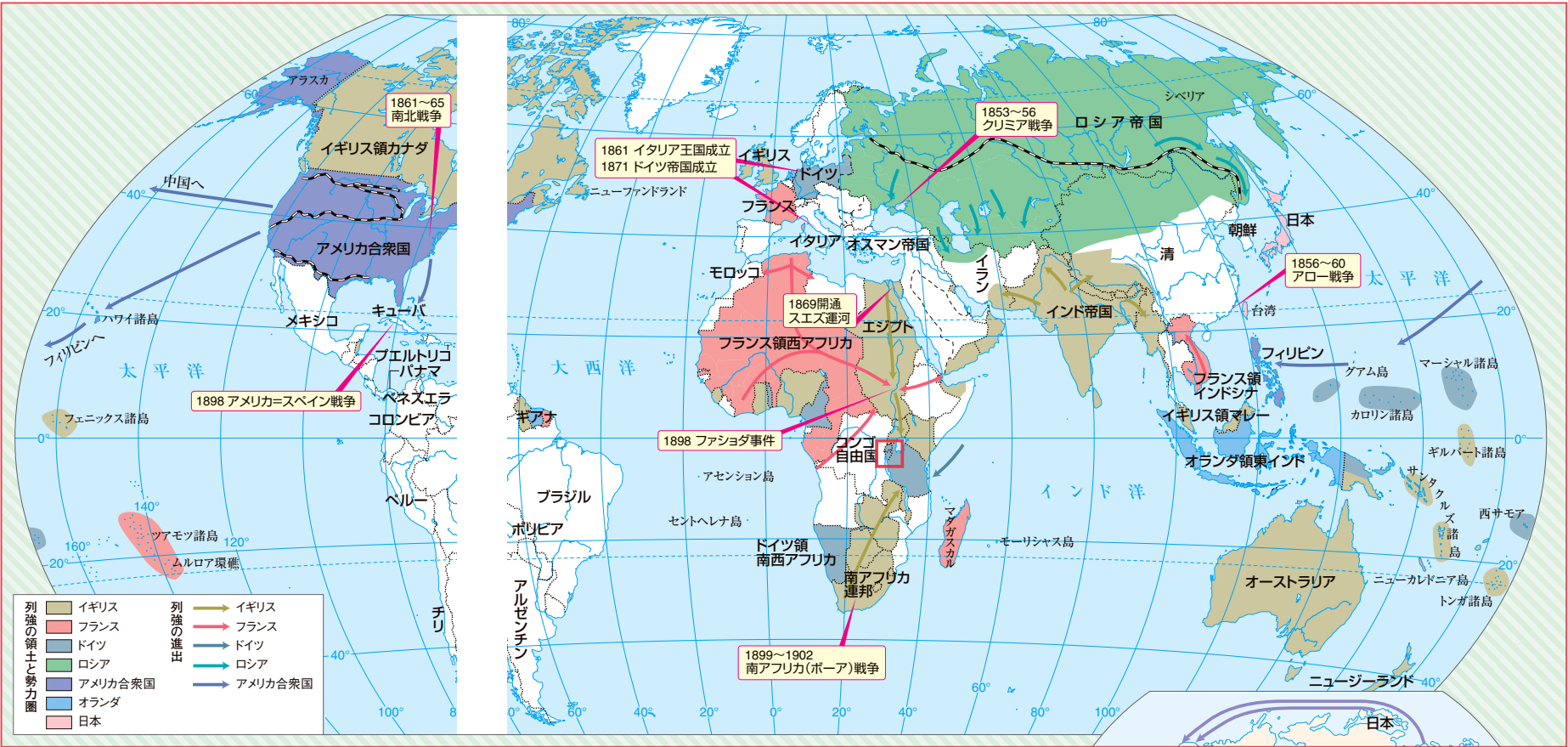




④日本製品を破壊して抗議するアメリカの労働者 (1980年)

①アメリカのカーター（在職1977～81）政権は、海外の民主化を求める人権外交を展開し、開発独裁をとってきた諸国の民主化を後押しした。

②民主化要求運動の首謀者とされた金大中（→p.376）は、死刑判決を受けた。1973年に「金大中事件」を経験した日本を含む国際世論は、この判決を強く批判した。金大中はのちに釈放された。

番号 5



番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
1	153	2	院体画（北宗画）が	院体画（北宗画）が
2	189	地図	<div><p>This map shows the Ottoman Empire's maximum extent in orange, covering the Middle East, North Africa, and parts of Europe. Red arrows indicate expansion directions. Key locations labeled include Constantinople (コンスタンティノポリス), Cairo (カイロ), Mecca (メッカ), and various European and Asian territories. A legend at the bottom left identifies the orange area as the 'Ottoman Empire's maximum extent' and the red arrows as 'Ottoman Empire's expansion directions'. A scale bar shows 0 to 2000 km.</p></div> <div><p>This is a duplicate of the map above, showing the Ottoman Empire's maximum extent in orange and expansion directions with red arrows. It includes the same labels for major cities and regions, a legend, and a 2000 km scale bar.</p></div>	
3	396	さくいん	テオドシウス 50, 52 テオドリク王 <u>52</u> デカプリストの乱 245	テオドシウス 50, 52 テオドリク王 <u>53</u> デカプリストの乱 245